

国際科学技術センター

国際科学技術センター こくさいかがくぎじゅつせんたー

International Science and Technology Center、ISTC 国際科学技術センターは日本、米国、EU、カナダ等からの拠出金により、ロシア・NIS諸国の大量破壊兵器関連の研究者・技術者による平和目的の研究プロジェクトを支援するために設立された国際機関である。事務局はモスクワにある。東西冷戦終結後、旧ソ連において大量破壊兵器の開発・製造およびミサイル運搬システムに従事していた科学者・技術者が、仕事の減少に伴い、懸念国へ流出する危険性が高まった。このため、1992年11月、日本、米国、EU、ロシアの4極は「ISTCを設立する協定」に署名した。その結果、1994年3月にISTCがモスクワにおいて発足した。支援国は日本、米国、EU、カナダ、ロシア、韓国およびノルウェーで被支援国はロシア、ベラルーシ、カザフスタン、アルメニア、グルジア、キルギス、タジキスタンである。プロジェクトの対象分野は基礎研究、核融合、エネルギー、原子力安全、医学、電気工学、材料など広範にわたる。日本の支援は213件、約6千万ドル（2005年末現在）である。

<登録年月>

2007年06月
